

# 平成30年度事業報告

全国の犯罪発生件数（刑法犯認知件数）は、平成15年以降一貫して減少傾向を示し、平成30年中も対前年比9万7704件（10.7%）減の81万7338件となり、4年連続で戦後最少を更新するなど、数字の上では良好な治安情勢が保たれている。

しかし、その実態には、全体の7割以上を占める窃盗や器物損壊が全体の減少分の約90%を占めたほか、特殊詐欺の認知件数は減少したものの依然として高水準であることに加え、子どもや女性が被害者となる犯罪や国民に不安を与える凶悪事件が後を絶たず、犯罪情勢は予断を許さない状況にある。

一方、島根県の犯罪発生件数は、平成16年から概ね減少傾向を示し、平成30年中は対前年比142件（5.1%）減の2,631件となり、ピークであった平成15年（9,217件）の約28.5%となったが、殺人・放火・強盗等凶悪事件の発生があったほか、子どもに対する声かけ・つきまとい事案は増加傾向を示し、更には、年々悪質巧妙化する新しい手口の特殊詐欺により高齢者が多額の被害に遭うなど、県民が真に安全で安心して暮らせることを実感できる体感治安を向上させるためには、まだまだ取り組むべき課題が残されている。

当会では、平成30年度事業計画及び県内における犯罪発生状況などその時宜に応じ、警察本部、各地区防犯協力会等と連携を図りながら「街頭防犯カメラの拡充整備」、「通学路における子どもの見守り活動」、「高齢者をはじめとした特殊詐欺被害防止のための啓発活動」などの事業を重点的に推進したほか、県民の自主防犯意識の高揚や、地域や職域における自主的な安全・安心諸活動の継続に資する各事業を推進し、安全で安心なまちづくりに寄与した。

実施項目	実施事項及び内容
1 地域安全意識の高揚と地域安全活動の広報啓発	<p>(1) <u>機関紙「防犯しまね」の発行</u></p> <p>振り込め詐欺被害防止対策、子どもの安全確保対策、少年の非行防止と健全育成、県内各地域の活動状況、防犯に関する意見・提言、犯罪統計等各種の情報を盛り込んだ機関紙「防犯しまね」を季刊発行(年3回)し、県内全世帯に回覧、配付する等して防犯意識の高揚・啓発に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第126号 平成30年7月夏号 (29,000部)</li> <li>・第127号 平成30年10月秋号 (29,000部)</li> <li>・第128号 平成31年1月新春号 (28,900部)</li> </ul> <p style="text-align: right;">計 86,900部</p> <p>(2) <u>県防連ホームページを活用しての広報啓発</u></p> <p>ホームページを適時更新し、防犯連合会の事業、地域ボランティアの活動紹介のほか犯罪情勢や各種犯罪への注意喚起など情報発</p>

	<p>信及びボランティア活動等に活用できる資料（PDF）の搭載などにより啓発に努めた。（QRコードの活用によるHP閲覧）</p> <p>(3) <u>ラジオスポット放送による啓発</u>      高齢者が特殊詐欺で多額の被害を被っている現状を踏まえ、その被害を防止するため、歳末特別警戒期間中の12月、BSS山陰放送「音楽の風車」などの番組において注意を呼びかけた。      ・「特殊詐欺に注意」（20秒スポット） 9本放送</p> <p>(4) <u>ポスター等の作成・調達と掲出</u>      「犯罪のない安全で安心なまちづくり旬間」（10月）をはじめとした防犯運動や各種の犯罪被害防止を呼びかける全国統一ポスター、チラシ等を調達し、各地区防犯協会、警察署を通じて県内各地に掲出して地域安全等の意識高揚に努めた。      ○まちづくり旬間（全国地域安全運動）          ・全国統一ポスター（B3） 150枚          ・リーフレット 350枚      ○薬物乱用防止ハンドブック 4,500冊      ○特殊詐欺被害防止DVD          「その電話にだまされるな！」 13枚      ○図書カード 660枚          「みんなでつくろう日本一安全で安心な島根」</p> <p>(5) <u>防犯ポスター・標語の募集</u>      全国地域安全運動（10月）に向け、（公財）全国防犯協会連合会、警察庁等が募集する「防犯統一ポスター」と「統一標語」について、各地区防犯協会、警察署などを通じて募集を行った。</p>
<p>2 防犯団体の育成及び防犯ボランティア活動に対する協力援助</p>	<p>(1) <u>平成30年犯罪のない安全で安心なまちづくり大会を後援</u>      平成30年「島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり旬間」の実施に併せ、標記の大会が島根県・島根県警察本部・島根県教育委員会の主催で開催され当会も後援すると共に、大会運営に参画し、啓発資料の調達など支援を行った。      大会には、県東部の防犯ボランティア等を中心に参加し、      ○ 島根県知事（代理）による          犯罪のない安全で安心なまちづくり啓発ポスター入賞者表彰      ○ 当会顧問（島根県警察本部長）による全国防犯功労者、防犯栄誉金章・同銀章・功労ボランティア団体・防犯功労団体表彰の伝達      ○ 基調講演          立正大学心理学部対人社会心理学科 西田公昭教授          「だまされない力をつけよう・犯罪心理からの詐欺対策」      ○ その他          啓発ポスターの展示、ふれあいコンサートなどが行われ、地域ボランティア等の士気を高め、安全安心まちづくりの気運が</p>

大いに醸成された。

【開催日時・場所】

○ 平成30年10月13日(土)

松江イングリッシュガーデン

参加者150名

(2) 県地域防犯ボランティア交流会

当防犯連合会をはじめ、島根県、島根県警察本部、島根県教育委員会、大田市、大田市教育委員会、大田市防犯協力会、大田警察署が共催し、「地域防犯ボランティア交流会」を開催した。

○ 事例発表

・ 地元大田市「かわい見守り隊」松井功氏

・ 「島根県遊技業防犯協力会大田支部」藤田昌寛氏

○ 基調講演

駿河台大学心理学部 小俣謙二教授

「住民による防犯～課題と展望～」

【開催日時・場所】

○ 平成30年10月20日(土)

島根県立男女共同参画センター あすてらす研修室

参加者100名

(3) 「防犯手帳」の配付

「防犯手帳」は、各種防犯活動のノウハウが多く掲載され、防犯活動必携手帳として多くのボランティアに重宝されていることから、各地区防犯協会や職域防犯団体へ無償配付(100部)したほか、希望者への斡旋を行った。

(4) 防犯パトロール用「青色回転灯」の貸出し

青色回転灯装着車によるパトロール団体は、平成30年末現在で159団体2,453台となって活発な活動が展開され、「青色回転灯」の貸出し需要も多くなっている。

平成30年度も、「黄色い手帳運動」から新たに20台の寄贈を受け、当会事業としても50台を配付し貸出し業務を行った。

(5) 地域安全推進員連絡協議会総会・研修会への参加、支援

県内の地域安全推進員で構成されている連絡協議会の総会及び研修会を支援するとともに、これに出席し、情報交換等連携に努めた。

【開催日時・場所等】

○ 平成30年6月8日(金) 島根県市町村振興センター

○ 出席者：県内各地区の地域安全推進員代表、同防犯協会関係者、警察本部関係者 計 26名

(6) 職域防犯団体等諸会議への参画

本報告書記載の会議のほか、

・ 「島根県特殊詐欺撲滅対策推進本部連絡会議」

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり推進協議会」</li> <li>＊「犯罪に強い社会の実現のための島根県民会議」 (※本年度は合同開催)</li> <li>・「青少年育成島根県民会議」</li> </ul> <p>等の諸会合に出席し、情報交換等相互の連携強化に努めた。</p> <p>また、当会関係の全国防犯協会連合会専務理事会議に出席して情報交換を行い、他県の効果的な事業等について本県事業に反映させるよう努めた。</p> <p>(7) <u>その他各種月間等に対する支援</u></p> <p>全国地域安全運動(旬間)をはじめ、青少年の非行・被害防止全国強調月間、薬物乱用防止強化期間、歳末警戒、特殊詐欺被害撲滅月間など季節ごとに展開される各種地域安全活動に際しポスター、リーフレット、チラシ、防犯読本等を関係団体等へ配付するなどして支援した。</p>
<p>3 防犯設備・防犯資器材のあっせん及び紹介</p>	<p><u>「街頭防犯カメラ」ほか各種防犯器材の斡旋配布</u></p> <p>街頭防犯カメラは、犯罪に対する大きな抑止力となるものであり、これが普及に努めたほか、JA共済連から80台の寄贈を受け、県内各地に設置された。</p> <p>県内の設置台数が飛躍的に増加し、平成30年末には、701カ所830台となった。(うち警察設置は42カ所45台)</p>
<p>4 各種犯罪の抑止と検挙活動に対する協力支援</p>	<p><u>県民に不安を与える各種犯罪被害の抑止対策</u></p> <p>県内では、子どもに対する声かけやつきまとい事案も増加傾向にあるなど、県民が安全・安心を肌で感じる体感治安は未だ良好とは言えない状況にある。</p> <p>また、全国的に子どもが被害となる凶悪事件が発生したことを受けて、平成30年6月、関係閣僚会議において決定された「登下校防犯プラン」に基づき、学校、警察、地域ボランティア等と連携して通学路等における防犯対策を鋭意推進しているところである。</p> <p>このような情勢等を踏まえ、通学路の安全対策など子どもや女性の犯罪被害防止、悪質巧妙化する特殊詐欺による高齢者の被害防止に重点を指向した事業を展開したほか、地域安全意識等に係る啓発活動の充実、地域ボランティアの活動の支援による地域や職域における自主的な安全安心諸活動の促進、青少年の健全育成活動にかかる事業を推進し、安全で安心な地域社会づくりに寄与した。</p> <p>(1) <u>子どもと女性の犯罪被害防止</u></p> <p>ア <u>「街頭防犯カメラ」の普及・促進</u></p> <p>街頭防犯カメラの設置は、犯罪抑止、通学路における子どもや女性の安全確保に極めて有用であり、警察本部も平成23年からこれの普及を進められているところである。当会もこれに協力し</p>

	<p>「街頭防犯カメラ」の普及による犯罪の抑止に努めた。</p> <p>イ 「子ども110番の家」の普及と充実強化  下校防犯プランに基づき、「子ども110番の家」の充実強化を図るため、これまでのステッカーだけでは視認性が低く、緊急時に子どもの目にも触れにくいことからのぼり旗の配布を望む声が多く寄せられていたことから、全国防犯協会連合会の防犯助成事業に応募するとともに、次年度事業とすることを決定した。</p> <p>(2) <u>特殊詐欺被害防止</u>  高齢者を対象とした架空請求等を装った新しい手口の特殊詐欺等の実態を広く広報し、被害を未然に防止するため詐欺被害防止ハンドブックを高齢者教室等で活用したほか、イベント、街頭啓発等で配付するなど効果的に活用し、啓発に努めた。</p> <p>(3) <u>薬物犯罪抑止活動への協力</u>  薬物乱用防止ハンドブックの活用等により、覚せい剤、MDMA（合成麻薬）、大麻、シンナー等、薬物の乱用実態とその有害性を訴え、薬物乱用を拒絶する社会環境づくりを進めた。</p> <p>(4) <u>「暴力追放運動」や「けん銃等違法銃器根絶運動」への協力</u>  ア 風俗営業管理者に対する指導、講話  島根県暴力追放県民センターから資料を入手し、「風俗営業管理者講習」（後掲）の場を活用し、その配付や講話を行い、暴力追放や銃器の根絶機運の醸成に努めた。  イ 暴力追放・銃器根絶島根県民大会への参加  平成30年10月17日（水） 県民会館中ホール</p> <p>(5) <u>爆発物原材料対策（含む盗難防止）等テロ対策への協力</u>  ・クリアファイル 1,000枚  ・パネル 5枚</p>
<p>5 少年を守る活動及び少年の非行防止と健全育成活動に対する協力支援</p>	<p>(1) <u>中学生を対象とした防犯作文コンクールの実施</u>  少年の非行防止と健全育成を目的に、県下の中学生を対象に防犯作文の募集を行い、12校から28編の応募を得、審査の結果3編が優秀として中国防犯連合会連絡協議会会長表彰を受賞、5編について会長と警察本部長連盟の表彰を行い、応募者全員に参加賞を贈呈した。  中国防犯連合会連絡協議会優秀賞  出雲市立多伎中学校 宮本 ひまり さん  隠岐の島町立西郷南中学校 高宮 賢人 さん  出雲市立第二中学校 吉野 彰吾 さん</p> <p>(2) <u>スポーツ活動の推奨と支援</u>  島根県少年柔剣道大会への協力支援  平素、各警察署のお巡りさんから柔・剣道の指導を受けている少年に対し、練習成果を発揮する機会を与え、少年相互の友情と親睦を深めることを目的に、第31回島根県警察少年柔剣道大会が開催され、各優勝チームには「防犯連合会会長杯」、参加者全員に「参加賞」、柔道ベスト4剣道ベスト8には「ベストチーム賞」を贈った。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主催 島根県警察本部</li> <li>○ 後援 (公社)島根県防犯連合会 ほか</li> <li>○ 開催日時・場所 平成30年7月28日(土) 島根県立武道館</li> <li>○ 参加チーム等 柔道7チーム、剣道25チーム 計193名(内女子57名)</li> <li>○ 成績 柔道優勝:古志原少年柔道教室 剣道優勝:平田少年剣道教室</li> </ul> <p>(3) <u>少年ボランティア団体に対する協力支援</u>      少年の非行防止、健全育成並びに少年の社会参加活動等に取り組んでいるボランティア団体の会合や研修会の開催について支援を行ったほか、これに出席して指導、情報交換等を行った。</p> <p>ア 少年補導委員連絡協議会総会・研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日時・場所 平成30年4月27日(火) 警察本部大会議室</li> <li>○ 出席者 島根県警察本部生活安全部長ほか 県内各地域の少年補導委員代表者など計18名</li> </ul> <p>イ 少年指導委員連絡協議会総会・研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日時・場所 平成30年6月7日(金) 警察本部大会議室</li> <li>○ 出席者 島根県警察本部生活安全部長ほか 県内各地域の少年指導委員 計29名</li> </ul> <p>(4) <u>少年補導委員への団体総合保障保険加入</u>      県内の少年補導委員(738名)が安心してボランティア活動に従事できるよう「少年警察ボランティア団体総合保障保険」への加入を支援した。</p>
<p>6 長寿社会対策の推進</p>	<p>(1) <u>高齢者を対象とする特殊詐欺の被害防止(前掲)</u>      高齢者をターゲットにした還付金詐欺等に加え、架空請求など、新手の特殊詐欺により多額の被害が出ていることから、当会広報紙及びホームページ等で新手の詐欺についての注意を喚起したほか</p> <p>ポスター・チラシ・被害防止ブックなどを時宜に応じて作成し、高齢者の集いや自治会等の場での活用にも供するなどにより、被害防止を啓発した。</p> <p>(2) <u>特殊詐欺撲滅対策官民連携会議における取組</u>      島根県特殊詐欺撲滅対策推進本部(73の関係機関・団体で構成)に広報・啓発部会の本部員として参画、同連絡会議等の場において主として高齢者の特殊詐欺被害防止の啓発を行うなど関係機関団体との緊密な連携を図った。</p>
<p>7 防犯功労者等の表彰</p>	<p>(1) <u>防犯功労団体及び功労者の表彰</u></p> <p>ア 防犯連合会会長・警察本部長連名表彰      永年にわたり、地域安全活動、少年の非行防止と健全育成活動等に功労のあった団体及び個人を、5月16日(水)に開</p>

	<p>催した本会定時総会において表彰した。</p> <p>防犯功労団体 下熊谷の子どもを事件から守る会（雲南市） ほか9団体</p> <p>防犯功労者 安井 眞 氏 （松江市）ほか10名</p> <p>イ 警察庁長官・（公財）全国防犯協会連合会長連名等表彰 9月27日（木）東京明治記念館で開催された平成30年全国地域安全運動中央大会において、次の方々が表彰された。</p> <p>防犯栄誉金章 栗栖 一雄 氏 （浜田市） 防犯栄誉銀章 矢利 安雄 氏 （出雲市） 防犯栄誉銀章 曾田 耕市 氏 （雲南市） 防犯栄誉銅賞 野津 祐一 氏 （松江市）ほか5名</p> <p>防犯ボランティア団体 しまね防犯サークル〔SCOT〕（浜田市）</p> <p>防犯功労団体 出雲地区地域安全推進員協議会（出雲市）</p> <p>ウ 中国管区警察局長・中国防犯連合会連絡協議会長連名表彰 防犯功労により次の方々が表彰された。</p> <p>防犯功労者 坂本 淳 氏（隠岐の島町）ほか5名</p> <p>防犯功労団体 鹿足地区金融関係機関防犯協力会（津和野町）</p> <p>(2) <u>中学生防犯作文入賞者の表彰(前掲)</u> 中学生防犯作文コンクールの優秀者の5名を防犯連合会長・警察本部長連名で表彰した。</p>
<p>8 風俗環境浄化活動の推進</p>	<p>(1) <u>風俗営業管理者講習の実施</u> 島根県公安委員会から風俗営業管理者講習業務を受託し、同管理者に対し計16会場において講習を実施した。 実施状況は別記「風俗営業管理者講習実施状況表」のとおりであり、講習に当たっては、テキスト及び風俗環境浄化活動リーフレット等を調達し配布した。</p> <p>(2) <u>少年指導委員への協力助成(前掲)</u> 風俗営業店や性風俗関連特殊営業店に立入権限を有する少年指導委員の総会に参加し情報交換等行った。</p> <p>(3) <u>ぱちんこ遊技機に対する立入検査の実施</u> ぱちんこ店における不正行為の防止、健全化を図り、多くの客が安心して楽しめる環境を維持するため、島根県遊技業共同組合と協力し、ぱちんこ遊技機の立入検査を実施(年間)した。</p>
<p>9 収益事業</p>	<p>(1) <u>防犯資器材等の販売、斡旋</u> 子どもの安全対策、各種犯罪予防、ボランティア諸活動、地域安全運動等に資するための防犯カレンダー、防犯タスキ(腕章)懸垂幕、防犯読本、防犯ブザー、防犯標識ボール、古物標識、古物従業員証等の販売・斡旋事業を行った。 また、例年作成しているオリジナル図書カードは、松江市黒田西原地区での見守り活動中の写真を背景に</p>

	<p>「みんなで作ろう日本一安全であんしんな島根」をキャッチコピーとした図案とし、安全で安心な地域づくりを呼びかけた。</p> <p>(2) <u>遊技機立入検査事業の実施（前掲）</u>  平成26年4月1日、島根県遊技業協同組合と立入検査事業委託契約を締結し、県内のぱちんこ店  年間18日 62店舗  に対する立入検査を実施、契約を適正に履行した。</p>
<p>10 公益法人としての適正な組織運営</p>	<p>(1) <u>理事会・総会の開催</u>  ○平成30年度第1回理事会  平成30年4月25日承認決議（書面表決）  ・平成29年度事業報告及び計算書類並びに監査報告  ・平成30年度定時総会の招集 等  ○平成30年度定時総会及び第2回理事会（5月16日）  ・平成29年度事業報告及び決算報告  ・平成30年度事業計画及び予算  ・役員の変更・選任 等  ○平成30年度第3回理事会  平成31年2月18日承認決議（書面表決）  ・平成31年度事業計画及び予算 等</p> <p>(2) <u>財政基盤の確立</u>  賛助会員の新規募集について、機関紙「防犯しまね」紙上で呼びかけたほか、事業所を訪問しての募集活動を行った。  また、一般寄付についても機会あるごとに呼びかけを行った。なお、個人・法人の賛助会費、寄付金については税制上の優遇措置が受けられる旨を会員に通知するとともにホームページ等を活用して広く県民に広報した。</p> <p>※ 賛助会員～新規 9 退会 2 * 3月末現在～240会員</p>

別記 風俗営業管理者講習実施状況表（平成30年度）

実施日	講習会場	受講者 (営業種別)	実施日	講習会場	受講者 (営業種別)
6月 1日	安来市 安来警察署	5名 (接待飲食)	9月12日	浜田市 浜田警察署	8名 (接待飲食)
6月 5日	西ノ島町 浦郷警察署	2名 (接待飲食) 2名 (遊技場)	9月13日	浜田市 浜田警察署	11名 (遊技場)
6月 6日	隠岐の島町 隠岐の島警察署	3名 (接待飲食) 7名 (遊技場)	10月 5日	松江市 免許センター	8名 (接待飲食)
6月25日	松江市 免許センター	5名 (接待飲食)	10月18日	大田市 大田警察署	8名 (接待飲食)
7月 3日	雲南市 雲南警察署	13名 (接待飲食)	10月30日	松江市 免許センター	5名 (遊技場)
8月22日	益田市 益田警察署	12名 (接待飲食)	10月31日	松江市 免許センター	4名 (遊技場)
8月23日	益田市 益田警察署	3名 (遊技場)	11月 6日	出雲市 出雲警察署	10名 (遊技場)
9月 4日	出雲市 出雲警察署	22名 (接待飲食)	11月 8日	出雲市 出雲警察署	2名 (遊技場)

接待飲食等営業 86名

遊技場営業 44名

合計（16回）130名